



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集

美心会だより

2015年度 勝浦市 文化祭出演

今年の文化祭は、勝浦ネットワーク（徳島県勝浦町・和歌山県那智勝浦町）が初参加、例年になく盛り上がりを見せた。徳島県勝浦町は阿波踊りを、和歌山県那智勝浦町は神明社・牡丹獅子を披露、観衆からはため息が出るほどのすばらしい演技に大きな拍手が送られた。



徳島県勝浦町の阿波踊り

美心会は、毎週練習を積み重ねた簡化 24 式太極拳を



那智勝浦町の牡丹獅子



簡化 24 式太極拳の演武

病院に救急搬送。快復の願いもむなしく 11月4日、ご逝去された。会員各位については連絡網を通じ、会長から、お通夜、葬儀の日時・場所を連絡し、山岸先生を始め、たくさんの方々が最後のお別れをした。

葬儀に際し会員の方々から、色々な意見が寄せられたが、会長・副会長の三者で検討・協議の上、今回は個人で対応をお願いした。

理由は次のとおりである。

1. 会則に慶弔規定がないこと。
2. 今後のことを考えると、宗教の違いを考慮する必要がある（全員が仏徒とは限らず、神徒や他の宗教

の場への対応)。

3. ご遺族の負担軽減（返礼を考えられた場合、会の代表者や連絡先、会員の構成などの調査・返礼）。
 4. 会員の中には複数の教室・サークルに所属し、二重・三重の負担を強いてしまう。
- である。

今後、会の慶弔規定を考える場合、葬儀の形態の変化（家族葬の浸透）や、受ける側の負担についても十分配慮していただきたい。

また、緊急連絡網の構築も大きな課題として浮かび上がった。高梨由美子さんのご冥福をお祈りする。

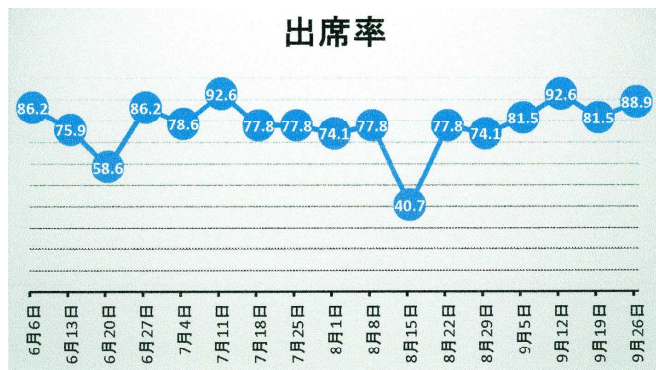
2015年6～9月期 出席率が飛躍的に向上

興津の興武館で練習をしていた頃は、会場借用料を支払うため、会員に出席簿の記入をお願いしていた。

2014年12月より、キュステのホールが無料で使用できるようになってから、出欠の記録が必要なくなり自然消滅の呈をなしていた。

一方、会長は独自に出席状況をチェックし、欠席の多い会員に対して、励ましの言葉をかけ続けている。

そこで、今年度の6～9月期の出欠を整理してみた。



6～9月（4ヶ月）の出席率変化

4ヶ月間の平均出席率は78.35%。8月15日のみ、お盆の影響で40.7%と低迷したが、7月11日・9月12日は92.6%と特異的な数値を示し、会長の尽力の成果を反映する結果となった。